

令和 7 年 第 1 1 回

羅臼町教育委員会議事録

令和7年第1回羅臼町教育委員会

1 日 時 令和7年10月29日（水）13時30分～14時00分

2 場 所 羅臼町役場 3階 第5・6会議室

3 出席者

教育長	石崎 佳典
委員	葛西 良浩
委員	芦崎 拓也
委員	佐々木 美穂
委員	小林 真裕子
教育指導主幹	横澤 英三
社会教育課長	長岡 紀文
総務管理係長	櫻庭 千尋

4 欠席者

学務課長 八幡 雅人

5 傍聴者

なし

6 議 題

報告 第16号 諸会議・諸行事について

7 その他

1. 教育指導主幹通信について

【開会】

○石崎教育長

令和7年第11回羅臼町教育委員会を開催致します。

本日は委員の皆さん全員出席ですので、会議は成立とさせていただきます。議事録署名委員は、葛西委員と芦崎委員にお願い致します。

議事の確認ですが、本日は報告第16号「諸会議・諸行事について」の1件であります。

尚、本会議終了後、高校の全国公募の取り組みである、地域みらい留学対面合同学校説明会の様子について、皆さんと共有したいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、議事に入る前に行政報告をさせていただきます。

10月21日午後7時30分頃、栄町住宅街に熊が出没したことを受け、23日に町内園長、校長と臨時会議を開催し、市街地区学校、幼稚園において、保護者の送迎による通学を行っております。春松地区の幼稚園と学校は近隣での熊出没もあることから、併せて注意喚起メールと、心配なご家庭は保護者送迎をお願いする旨の連絡を致しました。その後、26日深夜にも同じ場所で目撃情報があったことから、27日に監視カメラ、28日には箱罠を設置し、捕獲に向けた対応をしております。現段階においてカメラへの映り込み、捕獲の情報は入っておりませんが、今後も出没状況等を注視しながら、子ども達の安全確保に努めています。

次に、10月5日に開催された第32回クナシリ眺望駅伝競走大会についてであります。16チームの参加により開催されました。当日は天気も良く、集計作業、表彰準備による閉会式までの間には、恒例の豚汁に加え、新たな試みとして抽選会を行う等、怪我無く無事に、そして盛況に終了したところです。昨年より3チーム多い参加ということで、来年はそれ以上の参加に期待しているところです。

その他、社会教育関係では10月18日から19日にかけて図書館まつりが開催され、特に19日の「本との出会い講演会」には多くの親子連れが訪れるなど盛況がありました。また、10月25日は郷土資料館で「鮭の聖地シンポジウム」が開催され、町内外から40名を超える参加者があり、アンケートでも大変ためになったなどの声が寄せられたところです。学校行事関係では10月22日に知床未来中学校文化祭、26日に羅臼小学校学習発表会が行われました。今後も、週末には羅臼町総合文化祭、その後小学校、幼稚園の学習発表会が予定されております。多くの町民の参加を期待しているところです。

それでは議事に入ります。

【議 事】

●報告 第16号 諸会議・諸行事について

○石崎教育長

報告第16号「諸会議・諸行事について」担当から説明をお願いします。

○総務管理係長

議案の1ページをお願いいたします。報告第16号「諸会議・諸行事について」報告をさせていただきます。議案の2ページをお願い致します。11月から12月までの主な予定を記載しています。学務課所管事項です。11月7日に臨時議会が開催されます。11月9日には春松小学校の学習発表会が開催されます。11月16日は春松幼稚園の発表会です。11月17日から19日の期間で葵学園の丸山先生が各幼稚園と小学校を訪問します。11月18日には丸山先生による特別支援教育研修会が行われます。11月の教育委員会は26日を予定しています。11月28日には市町村教育委員会教育委員研修会が行われますのでよろしくお願い致します。11月29日から30日には、アフタースクール・羅科フェが春松小学校で開催されます。11月30日は羅臼幼稚園の発表会です。12月7日両小学校を会場に羅臼町立幼稚園・小学校閉園閉校式典を行います。12月9日から11日の期間で第4回定例議会が開催されます。12月の教育委員会は17日を予定しています。幼小中の冬季休業は12月24日から1月15日、羅臼高校の冬季休業は12月26日から1月19日となっています。学務課の所管事項は以上です。

○社会教育課長

社会教育課、図書館、郷土資料館所管事項についてご説明させていただきます。社会教育課所管事項です。10月31日から11月3日の期間でらうすぼを会場に第54回羅臼町総合文化祭を開催します。11月5日、13日、20日、27日に水産教室を行います。12月3日は水産教室閉級式です。11月14日から17日に東京都で開催される知床物産展に、羅臼高校の創作料理プロジェクトとして、生徒6名と教諭1名が参加する予定です。12月11日から15日に二科会の写真部北海道支部写真展がらうすぼで行われます。12月13日には知床Kidsのこまぐさ学級との餅つき交流を予定しています。図書館所管事項です。11月1日から3日に総合文化祭に合わせ第24回らうす古本市を行います。11月17日に根室・釧路管内図書館協議会地方研究集会が別海町で行われる予定です。図書館の年末年始休館は12月29日から1月5日までを予定しています。郷土資料館所管事項です。11月1日に知床圏4高校フォーラムが清里高校で開催されます。11月26日から27日は道東三管内博物館施設等連絡協議会が

釧路市で開催されます。郷土資料館の年末年始休館は12月27日から1月5日までを予定しています。以上でございます。

○石崎教育長

報告第16号「諸会議・諸行事について」説明ありました。ご意見や質問等ありましたらお願ひいたします。

○全委員

意見、質問等は特になし。

○石崎教育長

報告第16号「諸会議・諸行事について」は承認とさせていただきます。以上で議事は終了となります。

【その他】

●教育指導主幹通信について

○石崎教育長

その他として、教育指導主幹通信について説明をお願いします。

○横澤主幹

今回ご紹介するのは名古屋大学大学院教育発達科学研究科、内田教授の「教職離れにジェンダー格差」です。ジェンダーに関しては、男女混合名簿や高校入試では性別を書く欄が無くなっています。

2024年12月、文部科学省から調査結果の発表がありました。一つは教員採用試験の倍率が「過去最低」を記録したこと。もう一つは教員の精神疾患による休職者数が「過去最多」を記録したことです。この危機において、ある重要な問題が見過ごされている。それは、「ジェンダー格差」ということです。2024年12月に発表された、「令和6年度公立学校教員採用選考試験の実施状況」によると、2024年度に採用された公立校教員の採用倍率は3.2倍と「過去最低」を更新した。学校種別では、小学校が2.2倍、中学校が4.0倍、高校が4.3倍で、いずれも過去最低であった。倍率低下には受験者数の減少が大きく関係している。だがその「減少」は、男女に等しく生じているわけではない。グラフをご覧願います。1990年代に入り女性の割合が増えています。10年前からは男性の割合が増えています。かつて6割に達していた受験者の女性割合は、いまや平等=半数を切って、4割にまで低下している。職場としての学校は「平等化」ではなく「男性化」している。「教育の質の低下」や「教師不足」を嘆く声は多く発せられてきた。一方で女性における受験者の減少傾向は、まったくといってよいほど見出されてこなかった。文部科学省の「公立学校教員採用選考試験の実施状況」において、女性割合の低下を示すデータそのものが、公表されなくなっているということです。表1をご覧願います。受験者の男女別内訳を把握していない自治体が多くあることが分かります。ジェンダー問題への対応が問題見えなくさせるということです。今日、各種願書や申請書類において、性的少数者への配慮から、性別欄を廃止する動きが広がっている。教員採用試験についても、たとえば栃木県教育委員会は、2023年度採用試験で性別を把握しなくなったということです。女性の教職離れが深刻化する中で、ついにそれを証明するためのデータ自体が消えてしまった。ジェンダー・センシティブな対応が、かえってジェンダーの問題見えなくさせてしまうという皮肉な結果になっています。統計における男女別のデータのあり方については、内閣府男女共同参画局に設けられた「ジェンダー統計の観点からの性別欄検討ワーキング・グループ」が2022年に議論を重ねている。男女共同参画に後れをとっている日本社会では

格差の解消に向けて「男女別のデータを確実に取得することが重要。したがって、性別欄の有無に関する拙速な対応は慎むべき」と結論づけている。入職後の状況を確認すると、精神疾患において若手の割合が高いことへの言及が多い。実際に1カ月以上の病気休暇を含めた場合の在職者数に占める割合は20代が特に高い。退職者数について、採用から1年未満で辞めた者が過去最多となったことも報道されている。2022年度から151人増加の788人で、うち269人が精神疾患を理由にあげている。男女差の問題に切り込んだ報道は見当たらない。グラフをご覧願います。10年程前までは、精神疾患による病気休職に男女の差はありませんでした。近年は女性の精神疾患による病気休職が増えています。2016年度時点では男女はほぼ同程度の値で、それ以降、両社の間に開きが見られるようになっている。学校は長らく「女性が働きやすい職場」と言われてきた。だが、現実は違う。「女性の教職離れ」の進行が見えてきた。大学生調査では、教員免許取得に至らない理由として、職場環境・勤務実態に対する不安があげられている。現職教員の精神疾患については、精神科医の大石智氏によると、学校における欠員の常態化や労働時間管理の不備等による心理的安全性の不足が影を落としている。教職という仕事は、心身ともに過酷である。今回の分析結果からは、こうした職場環境に対して特に女性がNOを突き付けているように見える。教職のデータ分析に際してジェンダーの視点を取り入れること、そこで得られた結果をもとに職場環境の改善を図っていくこと、これが教職の危機を食い止める有効な手立てになるということです。

令和7年度羅臼町立小学校全国学力学習状況調査結果概要をご覧願います。主体的対話的で深い学びの項目です。「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問が大きく下がっています。全体的に減少傾向ですが、今年度は大きく下がっています。5年生の時点で問題が無かったかを学校に投げかけたいと思っています。「学級と友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方へ気付いたりすることができますか」は昨年度から始まった項目です。比較すると今年度の方が落ちていることが分かります。ICTを活用した学習状況の項目です。この項目については全国平均を大きく上回っています。5年生までのICT機器活用は2項目が高くなっていますが、他の項目は若干下がっています。この項目は今年度から始まったものですので比較はできません。国語の学習と算数の学習の項目です。どちらも全国平均を下回っています。「国語の勉強は好きですか」は過去最低です。「国語の授業の内容はよく分かりますか」も過去最低です。「算数の勉強は好きですか」は減少傾向にあります。「算数の授業の内容はよく分かりますか」も減少傾向にあります。理科の学習の項目です。理科は高い結果になっています。「理科の勉強は好きですか」は過去最高です。小学校では理科専科を配置しています。令和6年度は退職校長の加藤先生が理科を担当し、大変面白い授業をしていましたのでその結果だと思います。「理科の授業の内容はよく分かりますか」が高くなっています。

ます。生活習慣、学習習慣等の項目です。平日の学習時間の質問ですが、1時間以上勉強をしている児童の割合が低く、過去最低となっています。読書習慣の項目です。「1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問ですが、過去最低となっています。「読書は好きですか」という質問ですが、好きと答えた割合が過去最低となっています。自己有用感、幸福感の項目です。全国、全道の平均を下回っています。「友達関係に満足していますか」の質問が過去最低となっています。この部分の指導も必要になるのではないかと思っています。向社会性の項目です。「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問は全国、全道平均に近い値となっています。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」で、いけないと思うと回答した児童の割合が過去最低となっています。「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」という質問も過去最低となっています。向社会性の部分も指導が必要になると思います。クロス集計をご覧願います。「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、P C ・タブレット等の I C T 機器を勉強のために使っていますか」です。各教科とのクロス集計になっています。30分以上、1時間より少ないと答えた児童が多くなっています。この結果は全国な流れと同じです。1時間以上 I C T 機器を使用している児童は、目的が勉強、遊びに関わらず成績が低い傾向にあります。使用は1時間が限界だらうと考えられています。

令和7年度羅臼町立中学校全国学力学習状況調査結果概要をご覧願います。国語の学習、数学の学習の項目です。国語、数学ともに全国平均を大幅に上回っています。この結果を見ると、中学3年生が学習を頑張っていることと、先生方も頑張っていることが分かります。理科の学習の項目です。「理科の勉強は好きですか」「理科の授業の内容はよく分かりますか」が低くなっています。生活習慣、学習習慣等の項目です。小学校と同じく、1時間以上勉強している生徒の割合が過去2番目の低さとなっています。読書習慣の項目です。読書についても1日当たりの読書は過去最低となっています。「新聞を読んでいますか」は、ほぼゼロの回答です。「読書は好きですか」も低くなっています。学校司書を配置していますので、読書習慣に取り組んでいきたいと思います。自己有用感、幸福感の項目です。「自分には良いところがあると思いますか」という部分が低くなっていることが気になります。向社会性の項目です。「人が困っているときは、進んで助けていますか」が若干低くなっています。「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」も低くなっています。クロス集計をご覧願います。小学校と同じく「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、P C ・タブレット等の I C T 機器を勉強のために使っていますか」です。2時間以内の割合が高くなっています。使い過ぎは良くないということが言えると思います。

○石崎教育長

教育指導主幹から報告がありました。ご確認やご質問がありましたらお願ひ致します。

○佐々木委員

まったく当てはまらないという回答が多くなっているように感じました。例えば中学校の「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」の質問で、当てはまらないと回答した生徒が昨年度はゼロでしたが、今年度は数名いるようです。全体の意識が低くなっているように見えますが、数名でも当てはまないと答えた生徒がいれば、平均値は下がってしまいます。全体の意識を上げることも大切ですが、まったく当てはまないと回答した生徒への指導、改善方法を考えていくことも必要だと思います。

○石崎教育長

他にご確認やご質問がありましたらお願ひ致します。

○葛西委員

小学校では理科が好きな児童が多いということですが、中学生になると理科が嫌いになってしまふということですか。

○横澤主幹

理科専科の授業を受けた現在の6年生が、理科が好きと答えていますので、中学生になっても理科を好きなままでいてほしいと思っています。

理科の授業は実験の準備等に時間が必要になります。理科専科を配置することで、他の先生方の働き方改革になりますし、子ども達にとっても分かりやすく学力が上がる授業を受けることができます。来年度も理科専科を配置できるように要望をしていますが、理科専科の条件は週に20時間の授業数です。現在の理科専科は羅臼小学校と春松小学校を掛け持ちすることで条件を満たしています。来年度から小学校は1校になりますので20時間を満たせなくなってしまいます。中学校と掛け持ちすることは出来ないことになっていますし、標津町の小学校と掛け持ちすることは現実的ではありません。理科専科を配置することで理科の学力が向上していますので、引き続き配置されるよう根室教育局に要望しています。

○佐々木委員

算数専科を配置することはできますか。

○横澤主幹

先生方の人数に余裕があるときに配置したことがあります。その先生には5年生6年の算数を担当してもらいました。小学校の先生は全ての教科を教えることになります。全てが得意な教科ではないこともありますので、算数が得意な先生を算数専科とすることで学力が上がる傾向になりました。

○佐々木委員

教科担任制は導入していますか。

○横澤主幹

導入していません。小学校には導入してほしいと思っています。

○石崎教育長

他にご確認やご質問がありましたらお願い致します。

○全委員

確認、質問は特になし。

○石崎教育長

事務局から連絡報告等がありましたらお願いします。

○総務管理係長

次回の第12回教育委員会は11月26日水曜日午後1時30分からを予定していますのでよろしくお願い致します。

○石崎教育長

全体を通してのご意見、確認事項がありましたらお願い致します。

○全委員

意見、確認事項は特になし。

○石崎教育長

以上で令和7年第11回教育委員会を終了させていただきます。